

イワミ・アート・ラボラトリー『ウタは「境界」を超える』の開催について

公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）では、津和野町の教育魅力化に取り組む（一財）つわの学びみらいと連携し、芸術を軸とした地域活性に取り組む事業『イワミ・アート・ラボラトリー』を3か年計画で実施しており、今年が2年目となります。

当事業は、津和野町民の表現活動の充実を目的とし、アーティストと参加者が出会い、ワークショップや作品作りを通じて、参加者が表現することの楽しさを実感し、参加者同士の相互理解を深める場づくりを目指しています。津和野町で暮らす各々が自由に発想し、そして共に表現活動を行う事で、多様な価値観に触れ、地域を見つめ直すきっかけづくりを目指します。

今年度のテーマは、『ウタは「境界」を超える』。津和野出身の画家・安野光雅の「あの山のむこう（の子どもたち）を想像する」という言葉に着想を得て、津和野中学校と日原中学校の生徒が、まだ見ぬ「あの山のむこう（の子どもたち）」をアーティストと共に想像し、5・7・5・7・7形式のウタを作り、お互いに相手が誰か分からないまま、相互に送りあうワークショップを開催します。

つきましては、ご多忙とは存じますが、取材及び報道方よろしくお願ひいたします。

記

イワミ・アート・ラボラトリー 『ウタは「境界」を超える』

- ◆8月21日（月）14：00～18：15
- ◆8月22日（火）14：00～17：00
- ◆8月23日（水）12：00～14：00 ※時間・会場は変更になる可能性があります。

会場／ 津和野町民センター（島根県鹿足郡津和野町後田口66）

日原にぎわい創出拠点「かわべ」（島根県鹿足郡津和野町日原268-1）

- ◆出演／立川志の彦（落語家）、中村明珍（僧侶／農家／音楽家）
- ◆ファシリテーター／村岡詩織（島根県立大学地域政策学部 講師）
- ◆参加者／津和野町立津和野中学校生徒4～5名、津和野町立日原中学校生徒4～5名



立川志の彦（たてかわしのひこ）
日本大学文理学部体育学科卒業。新宿明治安田生命ホールにて立川志の輔の落語に出会い衝撃を受ける。師匠志の輔の公演先の名古屋まで練馬からヒッチハイクで向かい入門志願。2007年10月立川志の輔に入門。2014年4月二ツ目昇進。



中村明珍（なかむらみょうちん）
2013年までロックバンド銀杏BOYZのギタリスト・チン中村として活動。2013年3月末に山口県・周防大島に移住後、「中村農園」で農業に取り組みながら、僧侶として暮らす。また、農産物の販売とライブイベントなどの企画を行う「寄り道バザール」を夫婦で運営中。

<その他～取材について>

・想像力を持って臨んでもらうため、アーティスト名およびウタを送る相手は生徒に秘密にしています。

情報の取り扱いにはご注意ください。

・取材の際には腕章をお願いいたします。カメラ撮影はノーフラッシュで生徒の気が散らないよう距離を取ってお願いいたします。志の彦氏の落語中など、一部撮影を控えていただきたい場面がございます。取材をご希望の方は、事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

主催：島根県／公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）／一般財団法人 つわの学びみらい